

平成 24 年度 ふるさと福井景観づくり懇談会

日時：平成 25 年 3 月 19 日（金）AM10:30～AM12:00

場所：県庁 2 階 中会議室

委員から出た主な意見は以下のとおり。

- ・ 景観は、県民のアイデンティティそのものであり、これが私のふるさとだと誇りに思うことで、景観を良くしていきたいという意識が高まる。風景とは生き方が形に表れたもの。
- ・ 景観づくり活動を行うことにより、地域が元気になることが大事。県民の活動を百景のホームページなどで広く紹介するとよい。県民が活動している姿も風景のひとつである。
- ・ 福井駅前広場は、交通処理だけの広場になっている。どう見ても福井の駅前かどうか分からない。福井城の歴史ある雰囲気をも何としても駅前から見せるべき。
- ・ 県庁全体で、景観に関する色々なことをやっているのは、大変結構なことだと思う。
- ・ 空き家は切実な問題。空き家対策を進めていただけると助かる。
- ・ 百景は、県外にPRすることも大事だが、もっと県内の人に知ってほしいと感じた。知る人が増えれば、景観の語り部も増えていくと思う。
- ・ SATOYAMA 国際会議は大きな会議なので、打ち上げ花火で終わらずに、これを契機にいろんなことにつながっていくと良い。

以上